



11月度議員懇談会

## 第2回福井商工会議所 会員大会の結果を報告

11月度議員懇談会を11月1日11時から福井商工会議所ビル地下国際

ホールにて開催した。

開会にあたり川田会頭は「10月



は会員大会、テクノフェア、花あかりふくいなど、様々なイベントを開催し、技術や文化など様々な側面で福井の活性化に貢献できた」と挨拶した。

続いて、福井県農業試験場の清水豊弘場長より、新しい福井のブランド米「いちほまれ」の開発と販売戦略に関する取り組みについて卓話が行われた。過去60年間で米



「いちほまれ」の開発に至る背景などについて語る清水氏

の消費量が半減しており、市場の縮小が目立っている。もともと福井は米どころであるが、東京ではコシヒカリの産地としては新潟の魚沼より劣っている。加えて、全国各地で米のブランド化が進み、米の品種間競争が激化していることを受け、「いちほまれ」の開発が始まった。遺伝子調整を施して自然環境や病気に対する耐久性の確保を行い、実際の

食べ比べによる味の向上、そしてタンパク質の含有量などの化学的な検査を行った。開発では特に味にこだわり、甘さや食感などでコシヒカリを超えるおいしさを追求した結果、「いちほまれ」の高い品質が確立された。今後の販売戦略について清水氏は「東京では福井の知名度が低いので、大手百貨店への営業や、いちほまれを紹介するコンシェルジュの設置、料理イベントへの参加などによってブランド力を向上させる。福井だけでなく全国的な販路開拓や売上の拡大につなげていきたい」と語った。

続いて10月14日、15日に開催した第2回会員大会について、動画で当日の様子を振り返り、大会を構成した各イベントの内容や参加人数などが報告された。

最後に、各課より開催予定のセミナーや視察会、中小企業支援の取り組みなどについて説明された。